

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E112L019		情報とコンピュータ（実習を含む。） (Information and Computer)							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	2	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用		月5	日本語		単独						
担当教員	氏名 杉山昇太郎													
	E-mail sugiyama-s@oita-u.ac.jp 内線 7591													
授業の概要	本講義ではおもにパーソナルコンピュータを取り上げ、情報についての概要と、コンピュータのハードウェアおよびソフトウェアについての講義と実習を行い、情報とコンピュータに関する知識を深める。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	2進数および情報のデジタル化が理解できている							○						
目標2	コンピュータの五大機能および五大装置が説明できる								○					
目標3	ソフトウェアの役割や機能が説明できる								○					
目標4	コンピュータの基本的な操作ができる							○						
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度（計10）								5	5					
授業の内容														
1 情報とは														
2 2進数の基礎														
3 コンピュータのあらまし														
4 オペレーティングシステム														
5 コンピュータの操作実習 オペレーティングシステム														
6 アプリケーションソフトウェア														
7 アプリケーションソフトウェア実習1 ワードプロセッサ，表計算														
8 アプリケーションソフトウェア実習2 プレゼンテーション														
9 アプリケーションソフトウェア実習3 インターネット関係ソフトウェア														
10 ハードウェアの構成1 五大装置と入出力機器														
11 ハードウェアの構成2 記憶・演算・制御装置														
12 周辺機器 補助記憶装置														
13 ハードウェア実習														
14 コンピュータの基本動作														
15 コンピュータの応用														
ラーニングポイント	A:知識の定着・確認		○	レポートを課す 実習をする			工夫の他の	ハードウェアの実物を用意する						
	B:意見の表現・交換													
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造		○											
授業時間外学修と想定時間	準備学修		コンピュータ関連の書籍や雑誌等を熟読する(30h)											
	事後学修		課題レポートを作成する(30h)											
	想定時間合計													
教科書	適宜資料を配布する													
参考書	中学校学習指導要領，中学校学習指導要領解説技術・家庭編 ISBN 4304021540 コンピュータ関連の書籍													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	期末試験		60%	○	○	○							
	課題レポート		20%	○	○	○							
	実習態度		10%		○	○	○						
	実習レポート		10%		○	○							
注意事項	なし												
備考	なし												
リンク													
	URL												